

# 体罰容認の“風土”にどう切り込むか

2012年12月に発生した桜宮高校事件について、顧問の体罰等による精神的苦痛が生徒を自殺に追いやったとする地裁判決が出されました。この判決は、体罰が子どもの命に関わる問題であることをあらためて社会に問いかけるものです。

ただし、このような事件が起きてしまった背景には、顧問の「指導」親の問題のみならず、顧問が日常的に体罰を行うことを容認してきた“風土”が存在することを忘れてはなりません。

それでは、日本社会に根強くある体罰容認の“風土”にどう切り込み、変えていくことができるでしょうか。

今回は、ソフトボール界において、試合の場面だけでなく、指導者とプレーヤーの関係においても「フェアプレー」の精神を根付かせようとする試みについて、本ネットワークの世話人でもある佐子完十郎さんから話題提供をいただきます。

佐子さんからの話題提供をふまえて、参加者がそれぞれの立場でできることを考え合いたいと思います。

## <話題提供>

佐子 完十郎 さん (近畿ソフトボール協会指導者委員長)

## スポーツ指導に“フェアプレー”の風を

～ソフトボール界での取り組みを通して～

日 時:2016年4月17日(日)14:30～17:30  
(受付開始14:00)

会 場:龍谷大学大阪梅田キャンパス研修室  
〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2  
ヒルトンプラザウェストオフィスタワー14階

参加費:一般1,000円 会員・学生500円  
(当日受付でお支払いください)

※終了後、会場近辺にて懇親会を予定しております。  
(懇親会参加費は別途集めます)

### 会場アクセス

- JR「大阪」駅 桜橋出口 徒歩4分
- 地下鉄四つ橋線 「西梅田」駅3番出口すぐ
- 阪神「梅田」駅 徒歩すぐ



申込方法 : FAXまたはメールにて、  
①お名前、②ご所属、③ご連絡先、  
④懇親会参加の有無、をお知らせ下さい。  
FAX:0798-57-4122 (CAPセンター・JAPAN)  
E-mail:taibatsu2015network@gmail.com

主催:体罰をみんなで考えるネットワーク

子どもへの「体罰」をめぐる、さまざまな「なぜ?」について、さまざまな立場の人々が集い、共に考え、おとなと子どもの「いい関係」づくりを目指す、ゆるやかなネットワークです。